

◆災害復興支援団体サポートプログラム(休眠預金等活用事業 2020年度通常枠)
申請団体一覧

公募の結果、11団体からの応募がありました。申請団体の団体名・所在地・事業名・事業概要を[公募要領p.10「12. 審査結果の通知と開示」](#)に基づき、公開致します(五十音順)
多くの団体様にご応募をいただき、誠にありがとうございました。

【1】

団体名	特定非営利活動法人 wiz
所在地	岩手県大船渡市
事業名	被災地の事業推進のための伴走型複合支援コーディネート
事業概要	被災地の産業振興や雇用の基盤となっている事業者等は、中長期的な復興に向けた事業の再構築や新規事業展開に着手するための担い手人材や資金面のリソースが不足しているだけでなく、リソース不足を解消するための手法や知見も不足している。当法人が年間を通じて事業者毎の課題を掘り起こし、解決に向けたコーディネートをハンズオン型で行うことで、各事業者の事業推進、課題解決、資金調達、運営基盤強化を複合的かつ具体的に実施する。具体的には下記の事業内容を事業者毎のニーズに応じて実施する。 取組①: 外部人材のコーディネートによる事業者毎の事業推進及び課題解決 取組②: 専門家による事業者毎の資金調達、組織運営基盤強化支援

【2】

団体名	特定非営利活動法人宇和島NPOセンター
所在地	愛媛県宇和島市
事業名	平成30年7月豪雨災害からの復興に向けた被災者再建と地域食堂が連携した居場所づくり支援プロジェクト
事業概要	西日本豪雨から3年近くが経過し、仮設住宅および見なし仮設住宅の住民において再建が進む中、訪問支援を担ってきた地域支え合いセンターが閉鎖する。今後再建する被災者世帯への再建に向けた支援、再建済みの方、その周辺の方も含めた被災者の心のケアを含めた支援が必要な状況が続いている。また、その被災者を支えてきたボランティアについても、窓口機能を担ってきた災害ボランティアセンターおよびJAボランティア窓口が閉鎖していく。本事業では、今までの訪問型支援(社会福祉協議会が機能継続予定)ではなく、居場所づくり支援として、地域内の子ども食堂拠点を活用したサロン等の開催や、見守りの一環の地域食堂の運営を行う。それと同時に、災害・柑橘農家・居場所づくりにおけるボランティア活動を維持していく。宇和島市、社会福祉協議会、その他地域内外NPOと連携しながら、本事業を推進し、西日本豪雨被災からの復興に向けた後押しする事業を推進する。

【3】

団体名	株式会社エフライフ
所在地	福島県郡山市
事業名	インスピ!ふくしま(仮)

	みんなでアイデアを出して、みんなで形にする! 被災地におけるオープンイノベーションプラットフォーム運営事業
事業概要	<p>弊社は、2018年度からの3年間、復興庁クラウドファンディング支援事業の地域コーディネーターとして、42事業者のクラウドファンディングプロジェクトの伴走支援及びコンサルティングを行い、合計1億4000万円以上、支援者数延べ●●人の支援を獲得した。その過程において、クラウドファンディングの取組が被災事業者の資金調達だけでなく関係人口創出に資することと、以下の2つのニーズが存在することが観測できた。</p> <p>(1) 被災事業者は集まった資金を使って、効果的な商品開発やプロモーションを行いたい、自身にはそのためのリソースがない。</p> <p>(2) お金を拠出する以上の形で、プロジェクト成功にコミットする意欲のある支援者がいるが、実際に貢献をする機会がない。</p> <p>本事業では、アイデアソン+アイデアの実行サポートという手法を用いて、被災地でオープンイノベーションが起き続けるためのプラットフォームを創設・運営する。</p>

【4】

団体名	一般社団法人 SINKa
所在地	福岡県福岡市
事業名	取り残したくない球磨川流域(八代・人吉・球磨・あさぎり)での持続的な地域コミュニティ創出事業
事業概要	<p>令和2年7月熊本豪雨災害より10ヶ月ほど経過し、復興が進む地域がある一方、行政力の弱い市街地から離れた地域では未だに家屋内の泥や道路・庭に瓦礫が放置され、日常生活を取り戻せ無い高齢者・世帯が多い「取り残された地域」がある。その地域で、泥だし、瓦礫撤去、清掃、炊き出し等の復旧・復興事業を行い自宅で暮らせるようにしたい。また、震災により分断されてしまった住民が集まれる場・地域コミュニティを創出し、地域住民のネットワーク構築・拡大により被災地の支援が行き届く基盤を構築する。逃げられない世代(20-50代)が活躍し、地域コミュニティを再生し、持続的に地域に定着し、地域の信頼を得られる事業者を創り出し、財政的にも安定する仕組みを構築する。</p>

【5】

団体名	特定非営利活動法人 SET
所在地	岩手県陸前高田市
事業名	Change Maker Study Program～地域社会を担ってきた住民と外部の大学生の交流による地域活性化事業～
事業概要	<p>Change Maker Study Program(以下、CMSP)は当法人の活動拠点である岩手県陸前高田市広田町で行われている地域交流事業である。春と夏の長期休みに首都圏の大学生を120名ずつ募り、住民とともに1週間で広田町民と共に交流に関する企画を計画、実行、報告までを行う(コロナ前までの規模感)。地域住民が大学生との交流を通し、地域のまちづくり活動の実行を通して、町への愛を育み、主体的に地域での交流を行う住民が増えることをめざしている。本事業では、これまで広田町だけで行われていたものを、陸前高田市の中心市街地以外の他町へ拡大する。これにより、中心地と周辺地での地域住民の復興に関する意識、行動の差異を減少させ、それぞれの地域の強みを生かした住民主体の</p>

	まちづくりが行われていく状態を目指す。
--	---------------------

【6】

団体名	一般社団法人 TATAKIAGE Japan
所在地	福島県いわき市
事業名	双葉郡南部における学生インターンシップ受入れを通じた企業の経営力、採用力向上事業
事業概要	本事業では、東日本大震災とその後の原発事故により被災した双葉郡南部地域にて、学生と経営者が協働して企業の経営課題解決に取り組む実践型のインターンシッププログラムを実施する。今後の双葉郡の復興を担う次世代の若者と地域の経営者を繋ぎ、企業が学生という外部人材を受け入れることで、組織の経営改善を図ると同時に、企業内における人材育成の重要性についての意識を醸成する。本事業を通じて、企業が継続的に外部人材を活用できる土壌を整え、魅力ある雇用の場を創出していくことを目指す。

【7】

団体名	多良木キッズサークル
所在地	熊本県球磨郡多良木町
事業名	ASOBIBA/すまいるさろん/ベビママすまいるさろん/ニコニコ食堂
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ASOBIBA...小学生の子どもとその保護者を対象の中心とし、遊びの場の提供・学習支援・心のケア・子ども食堂の開催を行っている。また保護者が気軽にお喋りできる場の創設を行う。(毎週土曜日) ・ベビママすまいるさろん...乳幼児とその保護者を対象とし、本来のキッズサークルの役割であった子育て支援を行う。(毎週金曜日) ・すまいるさろん...フードバンクを活用した物資配布所を運営し、地域コミュニティの創設を担う。(毎週月・木曜日) ・ニコニコ食堂...地域・子ども食堂の運営(ニコニコ食堂/月2回)現在行っているのは以上だが、今後必要だと感じるものがあれば追加していく。

【8】

団体名	一般社団法人ドットリバー
所在地	熊本県人吉市
事業名	つなぐ、つながる復興へのおもい
事業概要	熊本県人吉市は、2020年7月に発生した豪雨災害による球磨川の氾濫により多くの住宅、商工事業者が被災した。国宝青井阿蘇神社をはじめとする観光拠点や、飲食店、人吉温泉、鉄道、球磨川くだり、ラフティングなど、観光資源の多くが壊滅的な被害を受けた。水害前からの取り組みとして人吉市まち・ひと・しごと総合交流館「くまりば」を活用して、様々な企業や大学等交流・マッチングを促進し、事業承継問題をはじめとする事業者が抱える課題の解決、新事業展開へのサポート、テレワークなど新しい働き方の受け入れ拠点として運営を続けてきた。豪雨災害の被害や新型コロナウイルス感染症により、主要産業である観光業の再建までにしばらく時間がかかる今、テレワークやワーケーションの誘致によって

	地域に関わる関係人口・交流人口づくりを通して被災飲食店や旅館関係者との連携した復興に向けた取り組みを生み出す。
--	---

【9】

団体名	南三陸町復興まちづくり支援コンソーシアム (幹事団体:一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム 構成団体:一般社団法人復興みなさん会／一般社団法人東北まちラボ)
所在地	一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム:宮城県仙台市 一般社団法人復興みなさん会:宮城県本吉郡南三陸町 一般社団法人東北まちラボ:宮城県亘理郡山元町
事業名	被災当事者が復興後の地域活動の担い手となっていくための活動支援事業 ～南三陸町震災復興祈念公園の管理運営への住民参画を端緒として～
事業概要	南三陸町震災復興祈念公園を活動の場とした多様な住民活動を活性化したり、震災前の町や震災後の復興後のプロセスを振り返りその価値を再確認する活動を行ったりすることで、復興公営住宅入居等の被災当事者の心の復興を支え、彼らが支援の対象＝「客体」から新しいまちづくりの担い手＝「主体」へと移行していくプロセスを支援する。加えて、外部から町を訪れる方にとって復興のシンボルである震災復興祈念公園を持続可能な形で管理運営していくため、住民参加に関する協議の場づくりや、官民協働のルールづくりなどを行い、様々な主体が無理のない形で公園管理に関わり続けることのできるための仕組みを整備する。

【10】

団体名	有限会社ミューズプランニング
所在地	熊本県熊本市
事業名	ひとり親のしごとと暮らしサポート「SHARE Station(益城)」
事業概要	コミュニティスペース「ましきこがみ舎」を拠点として、地域にある小さな「しごと」と、働く・働きたいひとり親をつなぎ、ひとり親家庭の経済的自立につながる支援(就労相談・おしごと紹介・スキルアップ)を行い、ひとり親家庭が抱える経済的不安・生活不安の軽減につなげる。そのために①ひとり親家庭の仕事や生活的不安や心配事を気軽に相談できる「居場所」「SHARE Station(益城)」を整備。②しごと・働き方に関する相談会、ワークショップ、スキルアップ学習会などを開催。③地域にある小さな仕事を紹介(企業や行政とも連携)する。④同スペースを活用して、小中学校終業後や土日の子どものあずかりを行い、ひとり親家庭の子どもが、地域の人の見守りによって安心して過ごせる居場所を作る。⑤孤立しがちなひとり親家庭の親と子が、「しごと」を通して地域とつながるしくみをつくることで、有事の際のつながり強化・相互支援の基盤づくりを行う。

【11】

団体名	株式会社ワンテーブル
所在地	宮城県名取市
事業名	WATARI TRIPLE C PROJECT ～防災都市創造プロジェクト～
事業概要	課題:防災文化が地域に根付かないことを課題として捉えている。東日本大震災

から、防災に関するハード整備は進んだものの、それらを活かしたソフト対応は全くできていない状況である。近年、自然災害は多発しており、同時に新型コロナウイルスなどを含む、防災へのアプローチが急務である。

事業内容: 防災を軸にした“住民の手による”街=レジリエンスなまちづくりを推し進める。地域を知り、地域と繋がり、地域を営むコミュニケーションを積み上げていくことが防災と捉え事業展開していく。本事業は、巨理町との共同事業において弊社が巨理沿岸部の3万㎡の広大な土地に町民と一緒にアート・スポーツ・DIY・クリエイティブをテーマとしチームをつくりながらエリア開発をする事業である。